

## ノリ養殖に係る指導及び情報提供

今年度の養殖施設の配置については好適漁場を優先的に利用し、生育状況を確認しながら養殖に向けた網の展開を実施するよう指導したほか、育苗期のノリ芽健全度調査を7回、秋芽生産期の漁場巡回調査を3回、水質観測結果や留意点をまとめたのり養殖通報の発行を12回実施し養殖管理情報を提供しました。

今年度の養殖経過は以下のとおりです。

育苗安定化に向けて従来9月下旬に行っていた網の張り込みを10月上旬に移行し陸上採苗と採苗網の張り込みを開始しました。育苗序盤は23℃前後の高い水温が続き芽の脱落や汚れの増加が見られましたが、10月半ば以降は水温が順調に低下し10月末までに良質の種網を確保できました。生産に向けた網の展開は11月以降開始され、最も早い場所では11月7日に初摘採が行われましたが、その後はノリ芽の伸び悩みが続き収穫は継続できませんでした。11月下旬に入ると浮き流し漁場を中心に伸長状況が好転して収穫が再開され1月以降は支柱柵でも収穫が行われるようになりました。

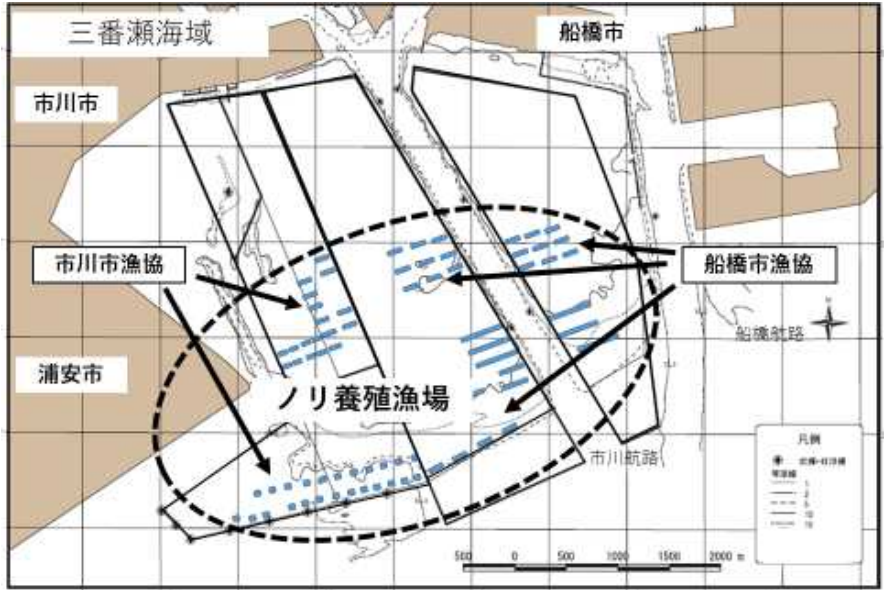
今期も全県的に生産が低迷していますが、三番瀬では継続的に良質のノリの収穫が行われており、今後のさらなる増産が期待されます。

## 【参考：生産状況（2月末現在）】

地区	枚数		金額	
	千枚	同期比	千円	同期比
三番瀬	4,498	64%	81,105	80%
(市川地区)	2,696	72%	47,055	96%
(船橋地区)	1,802	48%	34,050	66%
木更津地区	5,860	49%	105,415	62%
富津地区	50,895	60%	785,537	75%
全 県	61,253	59%	972,058	73%
全 国	4,741,024		65,278,129	

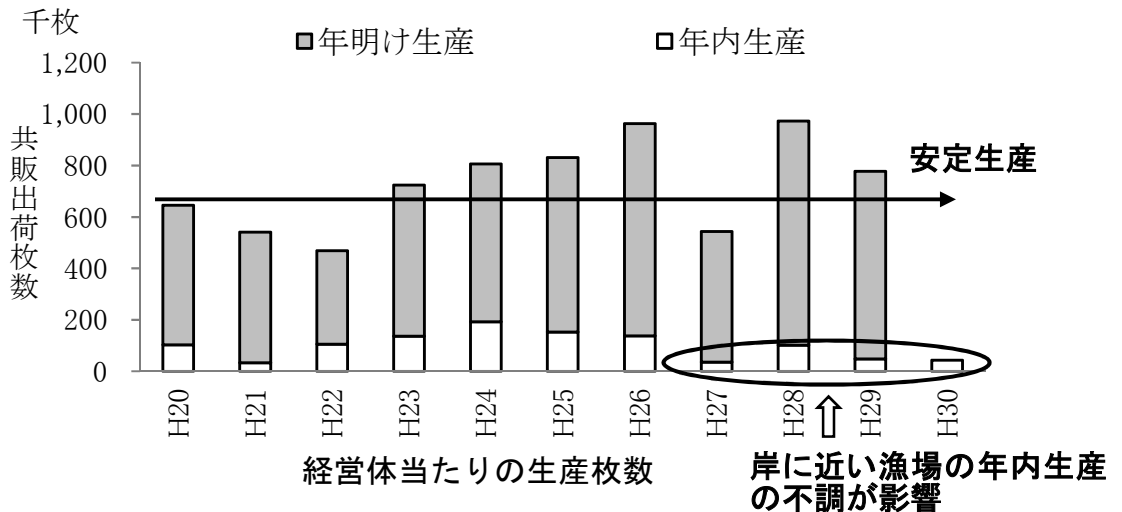
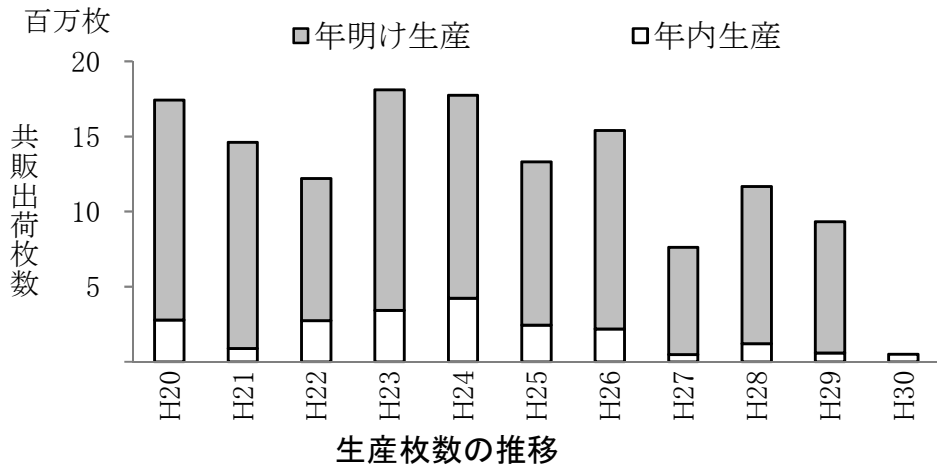
※同期比は、いずれも平年（25～29年までの5中3）との比較とした。

# 1 三番瀬のノリ養殖漁場



- 三方を陸に囲まれた閉鎖的な地形から流れが弱い
- 黒潮系の温かい海水が流入した場合に水温が急激に上昇するなど、水温の変動が大きい

# 2 三番瀬漁場におけるノリの生産状況



### 3 効率的なノリ漁場利用手法

三番瀬内での環境パターンに応じた好適漁場利用技術開発を踏まえ、  
年毎の漁場環境の変化に応じたノリ養殖を展開中

